

授業科目	*キリスト教保育 (AB クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11215J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-2			
担当教員	東 彩子							
授業概要	キリスト教に基づく保育とは、「子ども」を神の国の中心ととらえるイエスの視点により施されるものである。本講義では、聖書の視点に立ち、子どもは大人の所有物ではなく、神から授かった命そのものであることの確認と、子どもの命に寄り添う生き方を学生自らが問い問われる体験的な演習を行う。また、聖書の視点を基に、世界的な視野で「子ども」ととらえ、本学科の保育理念であるキリスト教保育について考察する。さらに、キリスト教保育の本質と目的の理解を深めるため、キリスト教の愛の精神を伝える「子どものための聖書劇」を製作・演出し、キリスト教保育の源泉に触れる。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> イエス・キリストの「子ども」理解を基に、世界や日本の「子ども」を取り巻く諸問題について考察できる。 キリスト教保育の思想と歴史を知り、キリスト教保育の諸行事について説明できる。 キリスト教保育における礼拝・祈り・聖話・賛美・聖書の劇の理解を深め、実践できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	0	20	60	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		20			60		80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				20			20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
イエス・キリストの「子ども」理解を基に、現代の「子ども」を取り巻く諸問題について考察し、キリスト教保育における礼拝・祈り・聖話・賛美・聖書の劇の理解を深め、実践できる。				イエス・キリストが「こども」をどう捉えているのかを理解し、こどもの視点にたって行われる礼拝について、具体的に知ることができる。また、聖話を土台とした劇を作りあげの中で、聖書理解を深めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:「キリスト教保育」の役割 キリスト教保育の歴史と思想を探求し、キリスト教保			講義/GW		講義の内容を復習する		30

	育が現代の日本社会において担う役割について考察する。			
2	テーマ:「キリスト教保育」と行事 キリスト教保育ならではの行事の概要を知り、それぞれの行事の意義について理解を深める。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
3	テーマ:子どもの礼拝(1)祈り 子どもの礼拝の意味と内容を知り、祈りについて理解を深める。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
4	テーマ:子どもの礼拝(2)聖話と賛美 子どもの礼拝における聖話と賛美の役割について理解を深め、様々な聖話や賛美について考察する。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
5	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」① イエス・キリストに仕えたマザー・テレサの生き様を学び、子どもの権利条約の内容について理解を深める。	講義/映像鑑賞	講義の内容を復習する	30
6	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」② 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べる。(貧困、戦争、独裁政権下、難民のこどもたち)	講義/GW	グループごとに調べを進める。	120
7	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」③ 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べ、発表の準備を行う。	GW	グループごとに発表の準備を行う。	120
8	テーマ:聖書の視点から知る「世界のこども」④ 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、支援の現況について調べたこと、考えたことを発表する。	プレゼンテーション ①	発表の考察をグループでまとめる。	60
9	テーマ:聖書の劇(1)＜演習①＞ キリスト教園における子ども劇の目的と使命、また、シナリオ作成と演出について考察する。	講義/GW	講義の内容を復習する	30
10	テーマ:聖書の劇(2)＜演習②＞ グループごとに、配役・演出・効果を検証しつつ、聖書の物語を土台としたシナリオを作成する。	GW	復習:グループごとにシナリオを完成させる。	200
11	テーマ:聖書の劇(3)＜演習③＞ 聖書理解、時代背景、役柄を研究し、子どもにわかりやすい演技や効果を検討、実践する。	GW	復習:劇の練習・製作を行う。	90
12	テーマ:聖書の劇(4)＜演習④＞ 聖書理解、時代背景、役柄を研究し、子どもにわかりやすい演技や効果を検討、実践する。	GW	復習:劇の練習・製作を行う。	90
13	テーマ:聖書の劇(5)＜演習⑤＞ グループごとにリハーサルを行う。	GW	復習:劇の練習・製作を行う。	90
14	テーマ:聖書の劇(6)＜グループ発表＞ 聖書の劇の発表を通して、キリスト教保育の本質と目的について理解を深める。	プレゼンテーション ②	復習:発表の振り返りを書き留める。	30

15	テーマ:聖書的「リーダーシップとチームワーク」 発表の振り返りと授業の総括をしつつ、保育の現場におけるリーダーシップとチームワークについて聖書的視点から考察し、小テストを行う。	講義/小テスト	予習:小テストのための振り返り	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	キリスト教学1で学んだ内容を基に聖書の劇を製作していくので、復習しておきましょう。			
テキスト	『聖書』 『新 子どもと行事』キリスト教保育連盟 『新 キリスト教保育指針』キリスト教保育連盟			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『神さまのおはなしきかせて』日本キリスト教団出版局 その他、紙芝居や絵本を授業中に紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習で学んだことと照らし合わせながら、聖書の視点で子どもや保護者、職場の人々と接するとはどういうことなのかを共に考えていきましょう。			

達成度評価に関するコメント	PF30%、チャペル PF30%、プレゼンテーション 20%、小テスト 20%
---------------	---